

第 7 1 期第 1 回男女共同参画推進委員会 議事録

日 時：2015 年 6 月 2 日（火）15：00-18:00

場 所：日本物理学会 大会議室

（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階）

出席者：板倉（委員長）、伊藤（副委員長）、野尻、本橋、間宮、小田原、中山、鹿野（以上委員）

山本（テレビ会議参加）、岡村、宮野、白勢（事務局）、

森（オブザーバー、前委員長）、藤井（オブザーバー、物理学会会長）

欠席：永宮、フラナガン、高安、（敬称略）

【議題】

- 【1】71 期委員と担当の確認
- 【2】メーリングリストの確認
- 【3】70 期第 3 回委員会議事録の確認、および理事会報告
- 【4】シンポジウム報告
- 【5】女子中高生夏の学校 2015 について経過報告と審議
- 【6】物理教育委員会などとの連携について
- 【7】国際交流関連の報告と審議
- 【8】男女共同参画学協会連絡会
- 【9】広報関連の連絡と確認
- 【10】その他

議題 （報告事項および審議事項）

【1】71 期委員と担当の決定

各委員の自己紹介を行い、新任委員の役割分担を次のように決定した。

女子中高生啓発：山本委員、中山委員、小田原委員、本橋委員（新任）

シンポジウム：鹿野委員、野尻委員、高安委員（新任）

広報：永宮委員、間宮委員（新任）、

学協会連絡会：伊藤副委員長、フラナガン委員、

国際連携：森オブザーバー

【2】メーリングリストの確認

各種メーリングリストの使用方法和メンバー構成にについて次のように決定した。

メーリングリスト danjoiin@jps.or.jp … 今期委員+事務局

メーリングリスト triangle@jps.or.jp … 歴代の委員長他

メーリングリスト support@jps.or.jp … 歴代の委員（67期以降）

【3】70 期第 3 回委員会議事録の確認と、理事会報告

森前委員長、および板倉委員長が理事会の報告を行った。

- ・第 582 理事会(3 月)/第 3 回委員会報告/男女共同参画推進委員の承認。

- ・第 583 理事会(3 月)/70 期 71 期理事の引き継ぎ
- ・第 584 理事会(4 月)/ 第 10 回女子中高生のための関西科学塾共催の承認。
及び共催分担金¥50,000 の供出決定/シンポジウム報告
- ・第 585 理事会(5 月)/日本物理学会と応用物理学会における
男女共同参画関連国際活動連絡会に関する覚書、および内規の承認

【4】シンポジウム報告

野尻委員、鹿野委員が年次大会シンポジウムの報告を行い、次回シンポジウムの方針を検討した。

- ・反省点：他のシンポジウムやセッションと重なっていて参加できない（若手研究者）などの理由で、部屋の広さの割には少ない約 50 人の参加だったこと。また、キャリアパスセンターに関してはもっと HP などでも周知してほしいという意見があった。
- ・対策：若手の会のようなメーリングリスト案内を流す、また、学会誌の求人公募欄にキャリアに特化するような関連シンポジウムや、キャリアパスセンターの宣伝を載せる等の案が検討した。後者については編集委員会とも協議し、さらに検討を進めることになった。
物理学会内での情報発信に関して考える必要があるが、それぞれの委員会やセンターが独立ではなく、連携していく必要がある、と、藤井会長からの意見があった。それを踏まえ、当委員会としてもキャリアパスセンター運営会議と連携を深めることを検討した。
- ・他：シンポジウム資料を物理と社会の HP にアップロードするため、発表スライドを集めているが、横山先生はスライドではなく、文章をアップロードしたいとのことであった。物理学会としては前例があるが、当日話したこと以外まで話題を拓げられると困るので、担当委員を中心に委員会で内容をチェックした後、シンポジウム世話人に掲載を依頼することとした。
- ・次回シンポジウムについて：次回シンポジウムテーマの候補として、かつて(2012)のアンケート結果の報告のような、ライフワークバランスはどうかという意見が出た。(第 2 回男女共同参画推進委員会 (9 月上旬予定) までに、メール審議等で内容検討を進め、学会申込みまでに決定する。

【5】女子中高生夏の学校 2015 について

中山委員、小田原委員から女子中高生夏の学校第 1 回実行委員会(4/22 お茶大)の報告があった。

- ・開催案（別紙資料）の説明があり、今年も協賛の申請をすることに決定した。
- ・実験・実習を物理教育委員会と協力して進め、ポスター展示、キャリア相談ブース、実験補助の内容は担当委員に一任し、必要に応じて委員が協力することとなった。
- ・費用に関して、ポスター展示補助の TA の雇用(5000 円×2 人)、および委員の交通費等を物理学会の支出とする。また、夏学側の物理学会窓口を確認した。
- ・実行委員会から HP（昨年度作成）に公開された趣意書に基づく夏学の募金（寄付金）の抛打診があった。しかしながら、予算として計上されていないので、今年度の寄付は行わず、来年度予算策定時までには、再び検討することとなった。
- ・英語が喋れる女性留学生や海外事情を紹介する日本語が喋れる女性留学生の募集に協力してほしいとの相談があり、委員の関係者からの該当者を募った。
- ・(参考)事務局から夏学関連の予算としては、交通費で 18 万円、夏学アルバイト代 1 万円、計 20 万円程度計上されているとの、報告があった。

【6】物理教育委員会などとの連携について

- ・女子中高生夏の学校への協力から始めることとし、具体的な項目をまとめて物理教育委員会へ提示することとした。物理教育委員会との併任の本橋委員が担当することとした。

【7】国際交流関連の報告と審議

- ・森オブザーバーから現在進行中の国際交流関連(APPS, Gender Summit, AAPPC, IUPAP)の報告があり、各会議の参加者や参加形態を決定した。
- ・Gender summit 6 (8/26-28日)ではJST担当セッション(8/27午後)で日本物理学会男女共同参画推進活動の紹介を依頼されており、また、ポスター発表についても検討し、物理学会の紹介および、シンポジウム報告のポスター発表を行うこととした。AAPPS (Association of Asia Pacific Physical Societies) (8/26) および Korea-China-Japan Women in Physics に関しても、内容が決まり次第対策することとした。
- ・日物応物連絡会の物理学会側責任者1名(任期3年/森(オブザーバー))、および委員5人程度(任期1年/板倉(委員長)、野尻(委員)、笹尾(67期委員長)、倉本(APPS委員)、小形(JPS理事))の推薦者と決め、会長に推薦することとした。(一部web委員会での内諾を含む)。*日物応物の運用内規では、連絡会委員は男女共同参画委員会が推薦し、会長が理事会の議を経て委嘱する、となっている。
- ・アテナプロジェクトについて、物理学会の呼びかけプロジェクトにも関わらず、現在の活動が見えないとの指摘があり、次回以降の委員会で引き続き検討することとなった。

【8】男女共同参画学協会連絡会

- ・4月末に分担金20,000を事務局から振り込み済みとの報告があった。
- ・伊藤副委員長から、新任の委員に向けての学協会連絡会の活動内容の紹介と、第2回学協会連絡会運営委員会の報告があった。

【9】広報

- ・委員会メンバーは管理用HPからID、PWの入力で、書き込み、資料アップの方法と、パスワードの確認等があった。HPに何かアップロード、または修正したいときには、原則として委員長、間宮担当委員、事務局に確認をすることとした。

【10】その他

- ・オブザーバー参加の会長から、設立70周年を記念した活動のお話があった。男女共同参画委員会の活動史をアピールできないかメーリングリストでの意見交換することとなった。
- ・次回委員会日程：8月末～9月(学会シンポジウムの内容検討)

配布資料

資料1_名簿

資料2_メーリングリスト

資料3_1_第3回男女共同参画推進委員会報告/理事会資料

資料3-2_男女共同参画推進委員会活動報告/理事会資料

資料3-3_男女共同参画推進委員会活動報告/理事会資料

資料4_年次大会シンポジウム開催報告

資料 5-1_平成 27 年度夏学第 1 回実行委員会参加報告/理事会
資料 5-2_夏学 H27 開催要項/理事会資料
資料 5-3_夏学の募金について
資料 5-4_夏学実行委員会参加報告
資料 7-1 日物応物男女共同参画関連国際活動連絡会覚書
資料 7-2 報告資料_日本物理学会運営内規_2015. 3
資料 7-3_Gender Summit Asia-Pacific への協力について
資料 7-4_海外若手女性研究者受入事業の公募について
資料 7-5_「Athena プログラム」提案とご協力のお願い
資料 8-1 男女共同参画学協会分担金 (2015 年度)
資料 10 日本物理学会の創立・設立の経緯
資料 10-3_内閣府「理工チャレンジ・・・」応援団体の募集について